（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

2021年6月16日
（前回公表年月日：2020年6月19日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
湘央生命科学技術専門学校	昭和61年10月22日	稲福全人	〒252-1121 神奈川県綾瀬市小園1424番4号 （電話）0467-77-1234
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人湘央学園	昭和56年4月20日	稲福全人	〒252-1121 神奈川県綾瀬市小園1424番4号 （電話）0467-77-1234

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	応用生物科学科（動物看護コース）	平成23年文部科学省告示第167号	―

学科の目的	学校教育法及び私立学校法の規定に基づき生命科学に関する専門の知識と技術を修得させ、職業に必要な実践的能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする。
認定年月日	平成26年　3月31日

修業年限	昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1年生	1160	760	0	450	0	0
		2年生	1150	655	100	630	0	0
			単位時間					

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人（学科80人）	44人	0人	5人	30人	35人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 成績評価は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。
長期休み	■夏　季：8月1日～9月9日 ■冬　季：12月21日～1月9日 ■春　季：3月20日～4月10日	卒業・進級条件	1年生終了時に所定の全科目が合格であった者 卒業時に所定の全科目が合格であった者
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 個人面談の定期的な実施 特別補講授業の実施 教育カウンセラーによるカウンセリングの実施	課外活動	■課外活動の種類 学会への参加、学園祭実行委員 ■サークル活動：　有
就職等の状況	■主な就職先、業界等（2020年度卒業生） 動物病院、企業の研究機関等 ■就職指導内容 入試キャリア支援室を常設していて、就職セミナー、就職ガイダンス、進路相談及び進路指導等を実施している。 ■卒業者数　19 ■就職希望者数　16 ■就職者数　15 ■就職率　93.8% ■卒業者に占める就職者の割合　78.9% ■その他 （2020年度卒業者に対する2021年6月1日の情報）	主な学修成果（資格・検定等）	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （2020年度卒業者に関する2021年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
動物看護師統一認定試験	④	19人	18人
愛玩動物飼養管理士2級試験	⑤	19人	19人
毒物劇物取扱者試験	③	19人	9人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～⑤のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③国家資格・検定のうち、受験資格を特定しないもの
④民間検定のうち、認定校のみ修了と同時に受験資格を取得するもの
⑤その他の民間検定等

■自由記述欄

中途退学の現状	■中途退学者　4　名　■中退率　10.6　% 2020年4月1日時点において、在学者38名（2020年4月1日入学者を含む） 2021年3月31日時点において、在学者34名（2021年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談の定期的実施、学納金についての相談窓口開設、補講授業実施、カウンセリング等
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 特待生制度、学業優秀者表彰 ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無

当該学科の ホームページ URL	URL: https://sho-oh.ac.jp/

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

・建学の精神である「生命を尊重する、人間性豊かな専門職業人の育成」を目指す。
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点から関連分野と連携してカリキュラムや教育方法の工夫を実施する。
・実践的な専門職業教育を行う教育機関として、関係業界等において必要な人材育成を実現すること。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

・学校は、教育課程編成に関する事項を諮問するために教育課程編成委員会を設置する。
・学校は、委員会の答申を受け、理事会に教育課程変更の審議を要請するものとする。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2021年6月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
田爪正気	株式会社ベネクス　顧問	2021/6/1～2022/5/31	②
成田淳美	シーサイドアニマルクリニック	2021/6/1～2022/5/31	③
花輪俊宏	湘央生命科学技術専門学校　応用生物科学科	2021/6/1～2022/5/31	
竹尾文彦	湘央生命科学技術専門学校　応用生物科学科	2021/6/1～2022/5/31	
浅原千恵	湘央生命科学技術専門学校　応用生物科学科	2021/6/1～2022/5/31	
大原亮介	湘央学園　学務部　学務課	2021/6/1～2022/5/31	

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
　地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間開催数・開催時期）
　年2回　9月、2月
（開催日時）
第1回　2021年9月下旬　（予定）
第2回　2022年2月中旬　（予定）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

　国家資格(「愛玩動物看護師」)化に伴う養成所設立について、現時点で省庁間で検討、判明している事項を委員の間で情報交換を行った。外部委員より、病院実習内容の再検討が必要であるとのご意見もあり、今後、各非常勤講師のご意見もいただき対応をしていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

＜動物病院実習Ⅰ・Ⅱ、動物病院実習Ⅲ・Ⅳ＞
・学内で学んだ基礎知識と技術が臨床の場においてどのように実践されているかを学び、将来につながる実践的な動物看護師としての豊かな資質を養う。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

　＜動物病院実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ＞
・1・2年次の長期休暇を利用し、動物病院での実際の病院業務内容について体験理解するために、それぞれ合計45時間の病院実習を履修する。
・専任教員による事前病院訪問で病院指導担当者に直接実習内容と指導方法、実習評価について打合せを実施する。
・病院実習の実習施設による技能・態度を中心とした資質評価『病院実習評価表』と学生が毎日記録する実習記録（実施内容）に基づき総合的に評価を行う。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等

動物病院実習Ⅰ	動物病院で行われている診療の流れを知る	愛甲石田動物病院、あき動物病院、アニマルクリニックイスト、犬猫病院バディ、EVINA犬猫病院、大塚動物病院、おだわら動物病院、かしわだい動物病院、亀山動物病院、関内どうぶつクリニック、行徳どうぶつ病院、栗田どうぶつ病院、ぐるんぱ動物病院、コネット動物病院、こもれびペットクリニック、さがみ中央動物医療センター、さがみはらねこの病院、さくら動物病院、桜ヶ丘どうぶつ病院、SHALAN動物病院、湘南動物愛護病院、たかまるどうぶつ病院、辻堂犬猫病院、動物病院カネコ、なかはた動物病院、なぎさ動物病院、野毛坂どうぶつ病院、林動物病院、福沢動物病院、、藤沢ゆい動物病院、二俣川どうぶつ病院、ふりす動物病院、プリモス動物病院、ぷる一と動物病院、ベイサイドアニマルクリニック、ベルジェ動物病院、ぽてと動物病院、みかん動物病院、溝呂木動物病院、めい動物病院、もも動物クリニック、横浜小鳥の病院、横浜ねこ病院、りん動物病院
動物病院実習Ⅱ	動物病院での消毒や清掃を実践することにより、衛生管理の重要性を理解する	
動物病院実習Ⅲ	獣医師からの指示がある程度理解でき、診療が円滑に行われるための工夫を考える	
動物病院実習Ⅳ	動物看護師の業務全般を理解し、医療従事者としての自覚を養う	

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

・学校は、職能団体、企業等が実施する学会および研修等へ教員を計画的に参加させることにより、職業に関連した実務に関する知識、技術および技能の向上、または授業および学生に対する指導力等の修得、向上を図る。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・ 愛玩動物看護師法進捗情報共有会：愛玩動物看護師カリキュラム等検討会にて、検討されている内容、現時点で決定された内容についての発表と質疑応答がWEB開催でなされた。（対象者：学科長・教員　2021.1、2021.3　全国動物教育協会）

②指導力の修得・向上のための研修等

・実験動物技術指導研修会**【新型コロナウィルスのため開催中止】**：実験動物技術指導員が集まる研修会で、指導員として研鑽をする場であり、参加予定だったが、新型コロナウィルスの影響で中止された。（対象者：学科長　2021.3(中止)　日本実験動物協会）

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・日本看護職協会総会：日本動物看護職協会の総会で、動物看護師に関わる情報を共有する。（学科長・教員　2021.6　日本動物看護職協会）

②指導力の修得・向上のための研修等

・日本臨床獣医学フォーラム年次大会：獣医療に関する多数の発表があり、動物看護に関する発表も多数ある。動物看護教員の研修として、勉強となる会である。（対象者：教員　2021.9.24～26）

・実験動物技術指導員研修会：実験動物技術指導員の研修会であり、指導員としての知識・技能を学ぶ。（対象者：学科長　2022.3　日本実験動物協会）

（1）学校関係者評価の基本方針

・実践的な職業教育を目的とした教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
・生徒、保護者、高等学校等、関係団体に適切な説明責任を果たすとともに、学校関係者に教育活動その他学校運営について理解を得る。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	①教育理念・教育目的・育成人材像は明確に定められているか ②学校における職業教育の特色は明確になっているか ③教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているか

（2）学校運営	①教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画（人事・財務・教務）が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか ④人事・給与に関する制度が整備してあり有効に機能しているか ⑤業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ⑥教育活動に関する情報公開が適切になされているか ⑦情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか
（3）教育活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③教育理念・到達目標に沿った教育課程は体系的に編成しているか ④講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ⑤学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ⑥職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑦キャリア教育を実施しているか ⑧成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確化し、適切に運用しているか ⑨資格取得の指導体制が整備され、適切に運用されているのか ⑩人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ⑪関連分野における優れた教員を確保するための活動が行われているか ⑫先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の指導力育成など資質向上の取組が行われているか ⑬教員の組織体制が整備され、適切に運用されているのか
（4）学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③入学者に対する卒業率はどうか ④実習委託をする場合、その目的、要望事項等及びそれに対する評価項目の依頼を明確にしているか ⑤インターンシップについて、依頼先の担当者と十分なコミュニケーションをとり、依頼した評価法どおりに評価されているか
（5）学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備され、学生や保護者に周知されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥学生の生活環境への支援は行われているか ⑦保護者との連携は適切か ⑧卒業生への支援体制はあるか ⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか ⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
（6）教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②実習室の機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ③学校施設・機器備品等が定期的に管理・点検されているか ④図書室及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ⑤防災に対する体制は整備されているか
（7）学生の受入れ募集	①高等学校に対する情報提供等の取組が行われているか ②学生募集活動は、適正に行われているか ③学生納付金は妥当なものとなっているか、入学辞退者に適正な取扱いを行っているか ④生徒募集の効果と実績を検証しているか
（8）財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③予算及び計画に基づき適正な執行管理を行っているか ④財務について会計監査が適切に行われているか ⑤財務情報の公開の体制準備はできているか

(9)法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ③自己評価の実施と問題点改善に努めているか ④自己評価結果を公開しているか ⑤学校関係者評価を実施して評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	①留学生の受入れに努めているか

(3)学校関係者評価結果の活用状況

生徒募集活動に関し、広報ワーキンググループとして若手教職員の意見を吸い上げるしくみはあるが、教職員の共有があまり図られていない。広報ワーキンググループのメンバーとなっている学科教員を窓口として、広報部門に対し積極的な提案が行えるように、学科内で議論できる場を設ける。また、学生募集の観点から、留学生の受け入れは大切であり、今後、留学生の応募があってもスムーズに対応できるよう準備を行う。また、新学科設立に伴いバイオ、動物看護の両カリキュラム内容の見直が必要になってくるが、生徒や業界のニーズをよく考慮したものを検討していきたい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2021年6月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
瀬戸泰久	関東労災病院　中央検査部	2021/6/1～2022/5/31	企業
田爪正気	株式会社ベネクス　顧問	2021/6/1～2022/5/31	企業
山﨑　翼	平塚市消防本部	2021/6/1～2022/5/31	企業
熊澤亮輔	熊澤会計事務所　外部評議員代表	2021/6/1～2022/5/31	企業
平野　貢	生命同窓会副会長　卒業生代表	2021/6/1～2022/5/31	卒業生

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ　公表時期　毎年6月1日

URL: https://sho-oh.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・学校に関する教育活動の状況や内容及び資格取得など、学校全体の状況が把握できるような情報提供をすることにより、関連業界等との連携・協力を図り、教育活動の改善や社会的信頼を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の教育・人材養成の目標及び教育計画、特色 ・校長名、所在地、連絡先、理事名簿等 ・学校の沿革、歴史
(2)各学科等の教育	・入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員 ・カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容 ・学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等 ・資格取得、検定試験合格等の実績 ・卒業後の進路
(3)教職員	・教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・実習・実技等の取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取組状況
(6)学生の生活支援	・学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金の取扱い ・活用できる経済的支援措置の内容等
(8)学校の財務	・貸借対照表、収支計算書、財産目録、事業報告書、監査報告書
(9)学校評価	・自己評価、学校関係者評価の結果

(3)情報提供方法

ホームページ　https://sho-oh.ac.jp/

（医療専門課程応用生物科学科動物看護コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			心理学	心理学の概論及び、臨床心理的知識を学び心の健康について学習する。	1②	30		○			○			○	
○			基礎数学	ライフサイエンスの分野でよく使われる計算技能を身につける。	1①	30		○			○			○	
○			生命倫理学	生命倫理学上の明確な正解の無い諸問題について、学問的に探求することを通じて、基本的知識や多様な理論を理解し、合理的な考察力と冷静な判断力、論理的思考力を養うとともに、優れた発表能力および文章表現力も併せて修得する。	1③	30		○			○			○	
○			生物学	バイオテクノロジー、動物看護を学ぶ上で必要な「生物学」の基礎について学ぶ。	1①	30		○			○		○		
○			英語Ⅰ	基礎的分野の理解を促し、学力の向上に努め、実践的な応用力の育成を目指す。	1①	30		○			○			○	
○			生化学	基礎となる科学力を高める。	1③	25		○			○		○		
○			検査機器総論	実習で使用する機器について、原理と注意点を中心に理解を深める。	1①	25		○			○		○		
○			免疫学入門	体に備わる免疫のしくみを理解するとともに、バイオ研究・技術者として必要な基礎知識を養う。	1④	25		○			○			○	
○			毒物劇物取扱法	毒物劇物取扱者試験の合格を目指す。	1①	25		○			○		○		
○			基礎化学	高校の復習をしながら基礎をしっかり勉強していきます。特に、実習で必要な濃度計算や資格試験で必要な内容に関して重点を置く。	1①	30		○			○		○		
○			微生物学	微生物学の基本的知識の修得。	1②	50		○			○			○	
○			微生物学実習	微生物の実習は、「形から始まり、形で終わる。」ことから、無菌操作、染色手技、顕微鏡操作、培地の使用法、感染防止対策などの基本的知識・技術を身につけさせる。	1③	90				○	○			○	
○			動物解剖学	動物の体の基本構造とその働きを理解する。各器官組織の主な部分の名称を覚える。動物種による違いを理解する。	1①	25		○			○			○	
○			就職講座	最低限必要となる文章力・コミュニケーション能力・一般教養・ビジネスマナーを身につけ、人間性を高める。	1②	25		○			○			○	
○			英語Ⅲ	Veterinary Science の分野で必要な医療英語を学習する。　正しく情報を読み取り、理解して、正しくCommunication するために、英語の基礎をしっかり習得する。	1④	30		○			○			○	

（医療専門課程応用生物科学科動物看護コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物看護学概論Ⅰ	動物看護師として必要な素養を身につける。コンパニオンアニマルと獣医師・クライアントを結ぶ架け橋となりうる存在の重要性を知る。	1②	25		○			○			○	
○			動物看護学概論Ⅱ	動物看護師について、またその職業倫理について学ぶ。	1④	25		○			○		○		
○			伴侶動物学	イヌやネコはどのような動物かを理解することで、接触態度をどのように変化させたらよいかを考え、動物看護に応用させる。	1①	25		○			○		○		
○			動物人間関係学	人と動物の調和に係ることを学ぶ。健康な犬猫に必要な日常ケアと適正飼養について理解する。	1②	25		○			○			○	
○			動物病理学	血液及びリンパ性循環障害、進行性病変と後退性病変、炎症、免疫異常などについて学び、疾病予防及び治療を理解する。	1②	25		○			○			○	
○			動物生理学	動物の体の構造と機能，そしてその機能を調節する機構について，基礎的な知識を獲得する。	1②	25		○			○			○	
○			公衆衛生学	動物の医療・管理に携わる者が身につけておかなければならない公衆衛生に関する基本的な知識を習得する。	1①	25		○			○		○		
○			動物寄生虫学	寄生虫の生態について、ＰＣやアトラスを併用して視覚的かつ生物学的に学び、それによって引きおこされる動物の寄生虫症を理解する。	1①	25		○			○			○	
○			動物医療関連法規	動物医療について倫理学および法律学の立場から学問的に探求することを通じて、基本的知識や多様な理論を理解し、合理的な考察力と冷静な判断力、さらに論理的思考力を養う。	1③	25		○			○			○	
○			動物行動学	動物の行動について習熟し、動物看護の現場で、その知識を生かせるようにする。	1②	25		○			○			○	
○			愛玩動物飼養管理	愛玩動物の飼養管理について学び、愛玩動物飼養管理士の資格取得を目指す。	1③	25		○			○		○		
○			動物臨床看護学総論	動物看護の基本的考え方について学ぶ。	1④	25		○			○		○	○	
○			動物形態機能学実習	基本的な動物の取扱いにはじまり、外科手術の流れを理解し、手術準備、周術期の動物管理、術後業務を理解することを目標とする。	1③	45				○	○		○	○	

（医療専門課程応用生物科学科動物看護コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	寄生虫の虫卵あるいは虫体検出を目的とした糞便検査や血液検査の基礎を学ぶ。	1③	45				○	○			○	
○			動物内科看護学実習	動物臨床看護技術について学ぶ。	1③	45				○	○			○	
○			動物飼育管理実習Ⅰ	動物に対する接触態度から、動物の美容に至まで、コンパニオンアニマルの飼養管理全般の基礎知識を身につける。	1①	45				○	○		○		
○			動物飼育管理実習Ⅱ	動物看護師の知識として必須であるカーミングシグナルの理解と見分け方を学ぶ。	1①	45				○	○		○		
○			グルーミング実習Ⅰ	動物病院において必要なグルーミング技術や処置前後の衛生管理技術を身につける。	1④	45				○	○			○	
○			動物病院実習Ⅰ	動物病院での消毒や清掃を実践することにより、衛生管理の重要性を理解する。	1②	45				○		○		○	○
○			動物病院実習Ⅱ	動物病院で行われている診療の流れを知る。	1③	45				○		○		○	○
		○	薬物管理学Ⅱ	毒物劇物取扱者試験の合格を目指す。	1②	25		○			○		○		
		○	TOIEC対策講座	TOIEC受験のための対策講座	1②	25		○			○			○	
○			文章表現法	表現の基本を学び、文章による表現活動をとおして、社会や文化についての理解をも深める。	2①	30		○			○			○	
○			生化学実習	生体物質調製法や糖、タンパク質、核酸及び酵素の定性と定量について理解する。	2①	90				○	○		○		
○			薬学概論	バイオ・動物看護関連薬物を薬学の視点で学ぶことで、より理解を深める。	2①	25		○			○			○	
○			医薬品論	バイオ・動物看護各認定試験関連薬物、身近な医薬品、話題の医薬品をいくつかとりあげて、その薬理や使用法を知る。	2②	25		○			○			○	
○			食品栄養学	栄養学の基礎的な知識を身につける。	2③	25		○			○			○	
○			放射線入門	放射線に関する基礎的事項を解説し、五感で関知することのできない放射線の種類や性質を理解する。また、放射線が人体に与える影響を講述し、定量的に危険性を判断できるようにする。	2②	25		○			○			○	
○			産業動物学	産業動物の生産性の効率化、それに伴う環境問題と福祉について、幅広く理解する。	2②	25		○			○			○	
○			野生動物学	野生動物の生態からヒトとのかかわりについて、広く理解を深める	2①	25		○			○			○	

（医療専門課程応用生物科学科動物看護コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物内科看護学	動物病院において比較的多くみられる疾患について、幅広く学び、理解する。	2①	25		○			○			○	
○			動物外科看護学Ⅰ	各臓器のどのような疾患に外科的処置が必要となるか知り、その処置方法にはどのようなものがあるかを知る。そのうえで、処置後に起こり得る変化および対処方法を理解する。そして、順調な回復のための動物管理の重要性を知る。	2③	25		○			○			○	
○			動物外科看護学Ⅱ	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備・手術補助・術後管理までの流れを理解し安全な手術の実施に必要な知識を習得する。	2④	25		○			○		○	○	
○			動物繁殖学	人とイヌおよびネコの生殖器の相違点を理解する。雌・雄の生殖器の構造を理解する。生殖器の発生。性の決定と分化を知る。雌･雄の性腺機能の調節、各性周期について学習すると共に、膣スメア一検査方法を学ぶ。妊娠・分娩・出産を理解し、雌雄生殖器系疾患の看護を学ぶ。	2④	25		○			○			○	
○			動物臨床栄養学	食事を栄養という観点から学び、食事の重要性について理解する。	2④	25		○			○			○	
○			動物臨床検査学	一般身体検査およびスクリーニング検査、特殊検査の知識を身に付ける。基礎的な知識を中心に動物病院での検査システムにおける臨床的応用も習得できるようにする。動物病院での看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖学、生理学的知識と共に、わかりやすく身に付ける。	2③	25		○			○			○	
○			ｴｷｿﾞﾁｯｸ動物学	エキゾチックといわれる動物を理解し、適切な飼養管理（環境衛生・飼料衛生・公衆衛生・精神衛生管理）を行え、適正かつ適切な看護への知識を学ぶ。今までに学んできた哺乳類を中心としたからだの生理や習性、体の構造や働きなどを復習しながらエキゾチック動物に対する理解を深める。	2②	25		○			○			○	
○			若齢動物・老齢動物管理	犬猫の新生子期から幼年期、また老齢期の動物管理について理解する。	2④	25		○			○			○	
○			臨床動物看護学各論Ⅰ	小動物診療の中心となる犬および猫の皮膚病を理解し、質の高い動物看護が実施できることを目指す。	2①	25		○			○			○	
○			臨床動物看護学各論Ⅱ	歯周病および眼科疾患を中心に、小動物の口腔および眼に生じる種々の異常を理解する。	2②	25		○			○			○	

（医療専門課程応用生物科学科動物看護コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			臨床動物看護学各論Ⅲ	周術期の動物看護方法を学ぶ。管理が急性期慢性期のような動物の状態によって変化することを学ぶ。同時に高齢、担癌など各々の持つ動物の特長を学ぶ。疼痛管理の重要性およびその方法を学ぶ。	2④	25		○			○			○	
○			臨床動物看護学各論Ⅳ	獣医療に関わる専門職である動物看護師の職務について、また様々な症状の動物に対する看護介入、援助について理解する。	2③	25		○			○			○	
○			臨床動物看護学各論Ⅴ	様々な症状の動物に対する看護介入、援助について理解できる。	2④	25		○			○			○	
○			動物臨床検査学実習Ⅱ	動物病院で行われる臨床検査の基礎技術を身につける。	2②	45				○	○			○	
○			動物臨床看護学実習	1年次の看護実習で学んだ内容を復習しながらさらに理解を深める。	2②	45				○	○			○	
○			動物外科看護学実習Ⅰ	周術期の看護、手術に関わる基本事項について、理解し、技術を習得する。	2③	45				○	○			○	
○			動物外科看護学実習Ⅱ	外科看護の基本的手技に応用力をつけ、より質の良い看護法を身につける。	2③	45				○	○		○		
○			救命救急対応	エマージェンシーの見極めとトリアージを理解し、動物の救命救急に生かす。	2③	25		○			○			○	
○			動物医療コミュニケーション	主に受付での飼い主とのコミュニケーション能力を習得し、社会人としての接遇を学ぶ。	2①	25		○			○		○		
○			動物看護総合演習Ⅰ	動物看護全般の知識の確認と動物看護師統一認定試験の対策を行う。	2③	50			○		○		○		
○			動物看護総合演習Ⅱ	動物看護全般の知識の確認と動物看護師統一認定試験の対策を行う。	2④	50			○		○		○		
○			動物飼育管理実習Ⅲ	動物看護師に必要とされる観察眼を身につける。	2①	45				○	○		○	○	
○			動物飼育管理実習Ⅳ	適正飼養に必要とされる作業の正確性と迅速性を身につけ、責任ある動物管理が行えるようにする。	2③	45				○	○		○		
○			グルーミング実習Ⅱ	動物病院において必要なグルーミング技術や処置前後の衛生管理に応用させる。	2④	45				○	○			○	
○			動物病院実習Ⅲ	動物病院で行われている診療の流れを知る。動物病院での消毒や清掃を実践することにより、衛生管理の重要性を理解する。	2①	45				○		○		○	○
○			動物病院実習Ⅳ	動物看護師の業務全般を理解し、動物医療従事者としての自覚を養う。	2②	45				○		○		○	○
		○	応用実験動物学Ⅰ	実験動物二級技術者資格認定試験の合格と実験動物に関する実践的な知識を身につける。	2①	25		○			○		○		

（医療専門課程応用生物科学科動物看護コース）2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	応用実験動物学Ⅱ	実験動物や動物実験に関して幅広い視点から考えられるようになること。	2③	25		○			○		○		
		○	応用実験動物学Ⅰ実習	一年生で学んだ基礎実験動物学実習の技術を基礎とし、その技術の応用と実践を体験する。	2①	45				○	○		○	○	
		○	応用実験動物学Ⅱ実習	技術指導を行うことにより、実験動物に関する自分の知識と技術を客観的に理解し、より深いレベルで定着させる。	2③	45				○	○		○		
		○	放射線概論	第2種放射線取扱主任者の試験に合格する基礎知識を修得する。	2②	25		○			○			○	
		○	公害防止概論	水質関係(第１種・第３種)公害防止管理者試験に合格できる知識を身につけること。	2①	25		○			○		○		
		○	インターンシップ	企業等で実務について学んでいく。	2①	45				○				○	○
合計				７８科目		２５９５単位時間									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修及び選択必修の全授業科目を履修し修得すること	１学年の学期区分	４期
	１学期の授業期間	７週間